

競 技 注 意 事 項

- 本大会に適用する競技規則は、2016年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項により実施する。
- 練習は指定された練習会場を使用する。その他審判員の指示に従うこと。
- 競技者の招集について

- 招集場所は競技場第2ゲート外に設ける。
- 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	棒 高 跳	70分前	60分前
フィールド競技	40分前	30分前			

- 招集方法

ア. 競技者は、競技者招集所付近に掲示した出場競技者一覧表に競技者または代理人がチェックする(○で囲む)。
 なお、リレー競技はオーダーの提出をもってチェックとする。

イ. 競技者は、出場種目の招集開始時刻までには招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼を始め、招集完了時刻には各競技場所へ移動を開始する。

ウ. 招集場所での点呼に不在だった競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

エ. 他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨競技者係に申し出て出場を確認する。

オ. 混成競技については、第1日目及び第2日目の最初の競技のみ全体の競技者招集所で点呼を受けるが、2種目からは混成競技招集所で混成競技係からチェックを受けることとする。混成競技招集所は、全体の競技者招集所横とする。それぞれの競技場所へは混成競技係が誘導する。

- 競技場への入退場について

- 競技場への入場は、係員の誘導に従い規律ある行動をすること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。
- フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員・場内司令の指示に従う。

- ナンバーカードについて

- ナンバーカードは、交付された大きさのまま使用し、必ずユニフォームの胸背に確実に付けること。ただし跳躍競技の競技者は胸・背のいずれかが良い。
- トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方に付けること。男女4×400mRでは2・3走はパンツの両側につけ、4走はパンツ右側後方に付けること。
- 3000m以上のトラック競技(競歩も含む)は、レーンナンバーカードを使用する。

- 走路順・競技順について

- 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
- 準決勝以降のトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は番組編成員で公正に抽選し決定する。トラック競技において、プラス進出者を決める場合、同タイム者については判定写真を拡大し、細部(電気計時1/1000)まで読み取り着差を判定する。判定が不可能な場合は本人または代理人によって抽選する。

- 競技について

- 事故防止のため、短距離走ではフィニッシュ後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- リレーに出場するチームは、予選・準決勝・決勝とも1組目の招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。提出時間に遅れたチームは当該種目を棄権したものとみなし処理する。なお、2日目の男女4×100mR準決勝のオーダー用紙提出については、予選が終了した1日目にも受け付ける。(17:00まで)
- 混成競技を除いて、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- 混成競技は各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- 競技規則第125条5ならびに第145条2に関わるスポーツマンにあるまじき行為あるいは不適当な行為があった場合は警告が与えられ、2度警告を受けると失格となる。
- 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、コーチングエリアやスタンドからの助言については競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。また、コーチングエリアにおいて映像機器を競技者に見せることができる。ただし、競技者に渡してはいけない。ミュージックプレーヤー・携帯電話の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- 競技中におきた競技者の結果または行為に対する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が公式発表されてから30分以内(当日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)、審判長に対して口頭でされなければならない。(アナウンスによる結果発表終了時刻を基準とする。)抗議者は担当総務員に申し出ること。
- 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに申告する場合は、上訴申立書(大会本部に用意)に必要な事項を記入し、預託金10,000円を添えて申し出ること。

- バーの上げ方について

- 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種 目	練 習	1	2	備 考
男子走高跳	予選	1m79	1m82	1m85
	決勝	1m82	1m85	1m88
女子走高跳	予選	1m48	1m51	1m54
	決勝	1m51	1m54	1m57
棒 高 跳	決勝	3m50	3m60	3m70

- 走高跳・棒高跳で第1位および全国大会出場権決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
- 混成競技については、混成競技審判長が決定する。

- 予選通過記録

	走高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男 子	1m85	6m55	12m85	12m10	35m00	40m50	49m00
女 子	1m54	5m10	—	9m60	29m50	—	36m00

※上記の記録は、天候その他の条件により変更することもある。

- 競技に使用する器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、やりは検定を受けて合格したものを使用できる。検定は招集所横で実施する。その際、「やり検査申請書」とやりを持参する。検査に合格したやりは「預かり証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げたやりは、各競技終了後、競技役員が招集所横で返却する。
- 混成競技の得点が同じ場合、得点为上回った種目数の多い競技者を上位とする。
- 表彰については結果発表後、全国大会出場資格を得た選手は、競技場正面玄関ロビー内に集合すること。
- ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者が行う。
- 全国大会出場権を得た競技者の監督は、全国大会申込を完了すること。申込場所は選手招集所附近のスーパーハウスに設ける。